



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 アルビス株式会社

コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大森 実

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 大山 秀樹

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	38,005	2.6	1,319	18.8	1,550	21.8	1,088	49.8
28年3月期第2四半期	37,032	6.4	1,110	41.8	1,272	39.1	726	59.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,059百万円 (37.9%) 28年3月期第2四半期 768百万円 (48.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	139.70	—
28年3月期第2四半期	94.03	93.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	35,354	19,945	56.4	2,541.18
28年3月期	33,844	18,929	55.9	2,450.31

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 19,945百万円 28年3月期 18,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期の第2四半期末配当金35円には当社第50期記念配当10円が含まれております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	5.3	2,453	8.4	2,800	4.2	1,611	2.5	208.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	7,905,926 株	28年3月期	7,905,926 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	56,997 株	28年3月期	180,957 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	7,790,269 株	28年3月期2Q	7,725,055 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国を始めとする新興国の成長鈍化やヨーロッパ・中東の情勢不安等の懸念により、先行きが不透明な状況であります。

小売業界におきましては、少子高齢化の急速な進展や労働環境の変化による人員不足、同業他社のほか業態を超えた企業間競争の激化等により、経営環境は厳しさを増しております。

このような激化する競争環境の中、企業を成長させ企業価値を高めるために「アルビスブランドの確立」を経営方針に掲げ、お客様から「わたしのお店」として支持いただけるようお客様のニーズに対応した店作りを行うため、各種施策に取り組んでまいりました。

店舗の最新化策として、平成28年7月に「布瀬店（旧富山南店）」、平成28年9月に「高原町店（旧グリーンプラザ店）」を建替えオープンいたしました。

「布瀬店」は、富山市南部の空港通りに面し、老朽化した店舗を建替え、一新しました。

店舗の入り口に惣菜コーナーを設置し、スープバーや炊き立てご飯をその場で詰める「あったかご飯弁当」など、出来立てを感じていただける商品を提供しております。小型店の特性を生かし、青果、海産、精肉の売場を集約し、お客様の利便性を高めることで、近隣のお客様を中心に好評を得ております。

「高原町店」は、富山市の東部に位置しており、ショッピングセンター（旧グリーンプラザ）を建替え、一新しました。

当該店舗では、レジでのお客様の待ち時間短縮を図るため、アルビスの店舗として初めてセミセルフレジを導入しました。大幅に売場面積を広げ、新鮮な魚やお刺身の種類を豊富に取り揃え、安心安全な野菜、味・品質にこだわった商品を充実させました。また、近隣のお客様や仕事帰りのお客様のニーズに適応した品揃えに取り組んだことで業績は順調に推移しております。

既存店の活性化策として、平成28年6月に高木店を改装しました。この改装では、焼きたてパンを提供するベーカリーコーナー及びお客様がくつろげるイートインコーナーを新設し、また惣菜メニューの拡充と、提供するタイミングにこだわりました。

今後につきましては、上記施策と合わせ、平成28年10月に明倫通り店（旧野々市店）の建替えオープンを実施しているほか、数店舗の改装を計画しております。

人材確保に向けた施策として、以前より女性採用割合の増加、女性の継続就業年数を伸ばす取組み、女性管理職の割合拡大など、従業員の多くを占める女性社員が生き生きと活躍する取組みを行ってきました。この結果、平成28年9月に厚生労働省より女性の活躍推進が優良な企業に与えられる「えるぼし」の3段階目（最高ランク）の認定を受けることができました。また、パート社員への研修や資格等級制度が定着してきたことで、技能・賃金と共にモチベーション向上に寄与しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、前第2四半期連結累計期間以後にオープンした西南部店、小矢部店や当期に建替えオープンした店舗の影響等により、営業収益38,005百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益1,319百万円（前年同期比18.8%増）、経常利益1,550百万円（前年同期比21.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,088百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,509百万円増加し、35,354百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の増加額276百万円、建物及び構築物（純額）の増加額181百万円、土地の増加額301百万円、有形固定資産その他（純額）の増加額373百万円、敷金及び保証金の増加額263百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ493百万円増加し、15,409百万円となりました。

この主な要因は買掛金の増加額201百万円、長期借入金の増加額244百万円等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,016百万円増加し、19,945百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額895百万円、自己株式の減少による増加額125百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ629百万円増加し、3,924百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ422百万円増加し、1,670百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの内訳は、税金等調整前四半期純利益が1,557百万円、減価償却費672百万円、支払債務の増加額91百万円、未払消費税等の増加額96百万円等による資金の増加と、賞与引当金の減少額68百万円、たな卸資産の増加額164百万円、法人税等の支払額417百万円等による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ1,502百万円減少し、1,522百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの内訳は、有形固定資産の売却による収入90百万円、投資有価証券の売却による収入96百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出1,465百万円、敷金及び保証金の差入による支出308百万円等による資金の減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ142百万円増加し、128百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの内訳は、長期借入れによる収入1,300百万円等による資金の増加と長期借入金の返済による支出1,045百万円等による資金の減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績につきましては、平成28年4月28日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,648,152	3,924,713
売掛金	390,837	408,375
商品	1,630,747	1,794,558
原材料及び貯蔵品	62,880	63,515
その他	989,707	1,006,794
貸倒引当金	△827	△1,206
流動資産合計	6,721,499	7,196,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,328,288	9,509,476
土地	10,568,185	10,869,987
その他(純額)	1,815,391	2,188,738
有形固定資産合計	21,711,865	22,568,202
無形固定資産		
のれん	99,103	82,114
その他	424,966	502,400
無形固定資産合計	524,070	584,514
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,520,310	3,783,793
その他	1,560,331	1,414,987
貸倒引当金	△193,321	△193,632
投資その他の資産合計	4,887,320	5,005,148
固定資産合計	27,123,256	28,157,865
資産合計	33,844,756	35,354,616
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,032,806	4,233,940
1年内返済予定の長期借入金	1,828,087	1,838,642
未払法人税等	463,850	451,767
賞与引当金	467,300	398,417
その他	2,031,975	2,125,658
流動負債合計	8,824,019	9,048,425
固定負債		
長期借入金	3,911,559	4,155,562
受入敷金保証金	937,414	925,193
資産除去債務	556,704	548,225
その他	685,875	731,677
固定負債合計	6,091,553	6,360,659
負債合計	14,915,573	15,409,084

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,896,091	2,896,091
資本剰余金	3,595,945	3,620,993
利益剰余金	12,740,160	13,635,313
自己株式	△196,562	△71,048
株主資本合計	19,035,634	20,081,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△107,071	△135,818
その他の包括利益累計額合計	△107,071	△135,818
新株予約権	620	—
純資産合計	18,929,182	19,945,531
負債純資産合計	33,844,756	35,354,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	36,453,316	37,436,059
売上原価	25,942,548	26,387,150
売上総利益	10,510,768	11,048,909
不動産賃貸収入	579,648	569,118
営業総利益	11,090,416	11,618,027
販売費及び一般管理費	9,979,650	10,298,669
営業利益	1,110,766	1,319,357
営業外収益		
受取利息	13,150	12,059
受取配当金	14,389	13,372
受取手数料	21,975	21,262
受取販売奨励金	50,797	56,191
その他	124,996	174,846
営業外収益合計	225,309	277,733
営業外費用		
支払利息	55,552	42,635
その他	7,574	4,043
営業外費用合計	63,126	46,679
経常利益	1,272,949	1,550,411
特別利益		
固定資産売却益	—	25,640
投資有価証券売却益	—	30,305
特別利益合計	—	55,945
特別損失		
減損損失	159,359	—
50周年記念事業費	—	49,197
特別損失合計	159,359	49,197
税金等調整前四半期純利益	1,113,589	1,557,160
法人税、住民税及び事業税	399,819	386,017
法人税等調整額	△12,597	82,865
法人税等合計	387,222	468,882
四半期純利益	726,366	1,088,277
親会社株主に帰属する四半期純利益	726,366	1,088,277

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	726,366	1,088,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,991	△28,746
その他の包括利益合計	41,991	△28,746
四半期包括利益	768,358	1,059,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	768,358	1,059,531
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,113,589	1,557,160
減価償却費	715,923	672,537
減損損失	159,359	—
のれん償却額	16,989	16,989
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△65	690
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,602	△68,882
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,768	△23,167
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	311	500
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,273	700
受取利息及び受取配当金	△27,540	△25,432
支払利息	55,552	42,635
固定資産除売却損益(△は益)	—	△25,640
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△30,305
売上債権の増減額(△は増加)	△29,632	△17,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	40,138	△164,445
支払債務の増減額(△は減少)	56,881	91,488
未払消費税等の増減額(△は減少)	△344,538	96,083
その他	△30,360	△9,799
小計	1,682,511	2,113,574
利息及び配当金の受取額	14,814	13,447
利息の支払額	△52,468	△39,430
法人税等の支払額	△397,558	△417,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,247,298	1,670,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,510,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,582,577	△1,465,364
有形固定資産の売却による収入	17,000	90,000
無形固定資産の取得による支出	△7,066	△2,682
投資有価証券の売却による収入	4,706	96,715
敷金及び保証金の差入による支出	△86,456	△308,647
その他	139,748	67,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,024,645	△1,522,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	—
長期借入れによる収入	800,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,184,389	△1,045,442
自己株式の取得による支出	—	△82
自己株式の処分による収入	—	150,025
配当金の支払額	△153,905	△192,677
リース債務の返済による支出	△75,565	△83,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,859	128,457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,791,206	276,560
現金及び現金同等物の期首残高	5,086,681	3,648,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,295,474	3,924,713

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。